

| | | | | | |
|--|--------------|-----------------------|-------------|------------|----------|
| 2013-B | | | | | |
| 拠出金・基金の名称 | | 情報社会構築等に係る活動支援 | | | |
| 種 別 | | イヤーマーク ノン・イヤーマーク | | | |
| 【拠出先の国際機関名】国際電気通信連合 (ITU) | | | | | |
| 【所管官庁担当局課・室名】総務省情報通信国際戦略局国際政策課 | | | | | |
| 【当該任意拠出金の目的・用途等】 技術協力プロジェクトの実施 | | | | | |
| 【最近3年間の我が国支払額及びODA率】 | | | | | |
| 単 位 | 邦 貨 (千 円) | 外貨1 (千ドル) | 外貨2 (千) | レ ー ト | ODA率 (%) |
| 平成25年度 | 43,658 | 532 | - | 1米ドル = 82円 | 0 |
| 平成24年度 | 42,485 | 525 | - | 1米ドル = 81円 | 0 |
| 平成23年度 | 38,488 | 432 | - | 1米ドル = 89円 | 0 |
| 【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 | | | | | |
| <p>ITUは電気通信の良好な運用により諸国民の間の平和的關係及び国際協力並びに経済的及び社会発展を円滑にすることを目的に活動しており、国連行事である「世界情報社会サミット (WSIS)」(03年、05年)の開催に当たって主要な役割を担ったほか、同サミットから10年が経過することを受け、2014年6月に開催されたWSIS+10/ハイレベルイベントにおいて主導的な役割を担うなど、国際電気通信の領域に大きな貢献を行っている。</p> <p>我が国は1959年以降、ITUの管理機関である理事会のメンバーに選出されるとともに、98年から2期8年にわたって事務総局長を務めるなど、ITUの政策・戦略的プロジェクト等を主導してきた。</p> <p>現在、我が国は、周波数の割当に関する無線通信規則委員会委員を務めるとともに、ITUの研究委員会等に議長4名、副議長9名を輩出している。また、2012年の世界無線通信会議では第5委員会の議長に任命されており、我が国は標準の策定など電気通信技術開発分野で貢献を行うとともに、我が国の技術や意見を優位に反映している。</p> | | | | | |